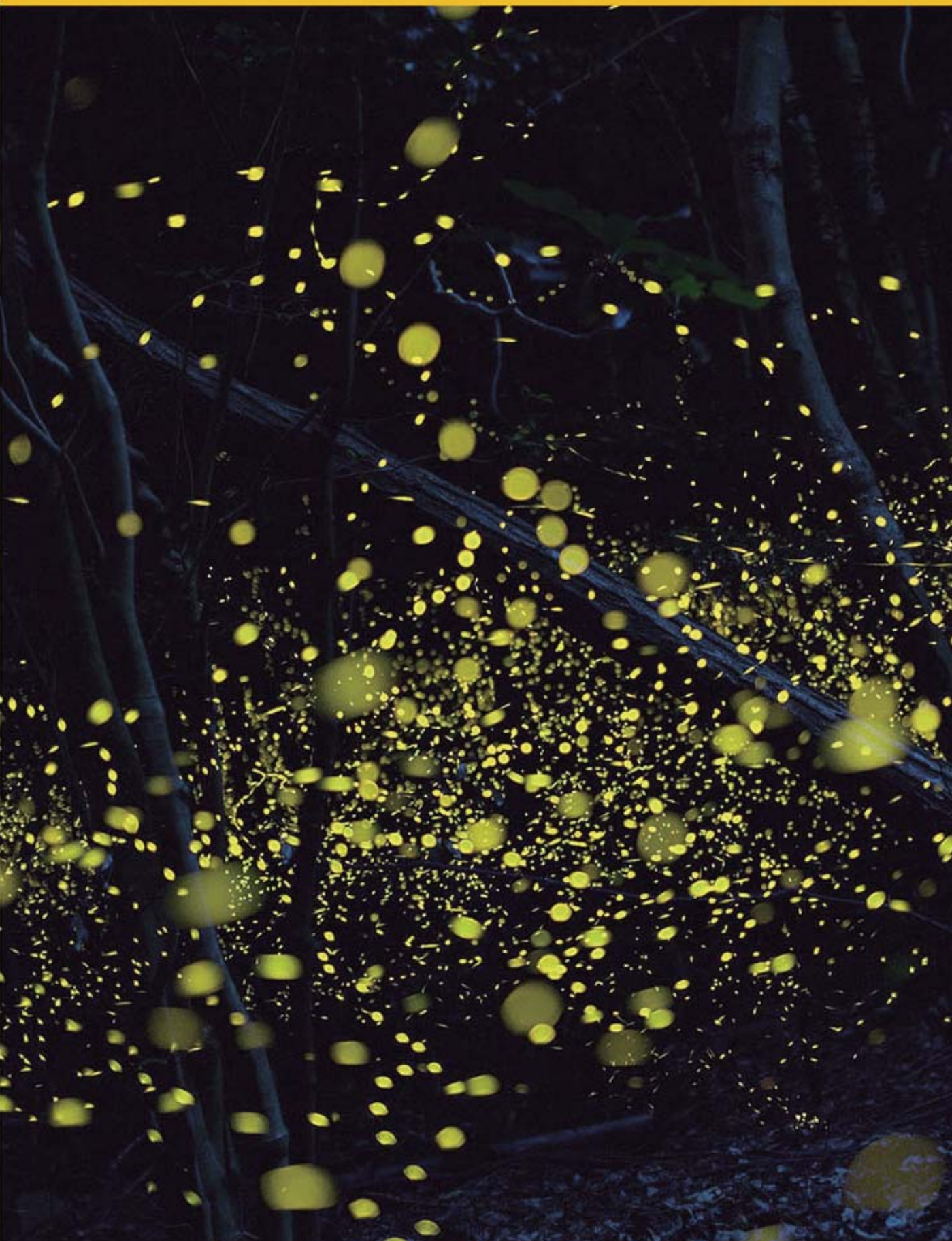


# FUEKI

【特集】福武哲彦教育賞・谷口澄夫教育奨励賞 受賞者の横顔

【活動レポート】子どもの育ちと学びをつなぐ



Full of light  青地大輔

岡山県南の秘密の森。

深夜、人知れず光が溢れる場所がある。特別遠い山奥という訳ではない。

石垣に囲まれた幾つもの敷地は、人がいなくなった長い時間の間に草木が浸食し森になった。そして、いつからかは知らないが新たな住人となった光の主が、日が沈み森が暗闇に包まれると決まった時刻に山の上から降りてくる。

満天の明かりが静かな森の中に溢れはじめるのだ。その神秘的な光景は宇宙が生まれているかのようにも見え、その美しさは、見る者の心を魅了する。

通常、ヒメボタルのメスは草の茎や枝に捕まって発光し、それに惹かれてやってきたオスと交尾し受精すると翌日産卵し、その生涯を終えてしまう。そして1ヶ月で羽化して幼虫となるのだ。(成虫の寿命はオスで7日、メスで2～3日といわれている。)

あまりにもはかなく美しい。

彼らは、光を当てられることをとても嫌がる。そして、産卵場となる茂みに立ち入られることもだ。近年、こういった場所へ訪れる人達のマナーが度々問題視されている。自然が見せる美しい光景を今後も楽しみたいのであれば、そこでの人間本意の行動を見直し、共存について考える必要があるのだ。今後も岡山の多くの森でこういった光が未来の時間でも見えればと願う。

あおちだすけ / 写真家、ブルーワークス PHOTO & DESIGN Office 代表、犬島時間実行委員会代表。1973年岡山市生まれ。写真及びデザイン業を営むとともに2004年よりアートを通じ、コミュニケーションを図ることを目的としたプロジェクト「犬島時間」を企画主催。人材の育成と発掘・地域づくりに取り組む。2013年福武文化奨励賞、岡山市文化奨励賞受賞。

## Editor's Column

私は花を育てることが好きだ。私の花づくりは、様々な植物を同じ鉢に植える寄せ植えではなく、一種を一鉢に植えてその個性に合わせて育ててあげる。水やり、土の酸性度、栄養、日当たり、成長に応じた植替えや鉢の大きさ、剪定の時期・方法など、全ての植物の好みが違うからだ。

その結果、咲く花は違ったものになってくる。紫陽花(あじさい)が、酸性土壌では青の発色が強いことはよく知られている。また、同じ一株から咲く花も、時期により色を異にする。同種の花であっても、それぞれに個性があり魅力的だ。そして同時期に咲いた花々を彩りよく配置すると、個を損なわずに全体として一層魅力的になる。

そこで個と全体、一人ひとりのアーティストと活動団体や地域との関係に思い至る。集合体であっても、構成員にはすべて個性があるからだ。

では地域振興という場合の「地域」とはどのようなエリア? 小学校や中学校単位? 自治体単位? 私は魅力的な個が集まった場所が、幸せな場所…「地域」と思っている。(財団・中野)



機関誌

不易

F U E K I vol.55 2014.9.25

題名「不易」には、「時代を超えて優れたものに共通する本質的なもの」を大切にしたいという谷口澄夫初代理事長の思いが込められています。

編集・発行:

公益財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17  
株式会社ベネッセコーポレーション本社3F  
TEL 086-221-5254 FAX 086-232-3190  
URL <http://www.fukutake.or.jp/>  
E-mail [cczaidan@fukutake.or.jp](mailto:cczaidan@fukutake.or.jp)

制作:  
株式会社 吉備人  
デザイン:  
田中雄一郎(QUA DESIGN style)  
印刷:  
広和印刷株式会社